

●調査レポート

第 83 回 埼玉県内企業経営動向調査－2013 年 4～6 月期－

調査対象：県内企業 574 社 調査方法：アンケート方式（5月上旬 郵送回収）
 回答企業：294 社（回答率 51.2%） 業種別内訳：製造業 172 社 非製造業 122 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
2013 年 2 月 15 日	92.50	11,173.83
2013 年 5 月 16 日	102.15	15,037.24

概況

県内企業の業況感は足元急速に持ち直している。今回（2013 年 4～6 月期）の業況判断 BSI は－19 と、前回（1～3 月期）に比べ 12 ポイント上昇、2012 年 7～9 月期以来 3 四半期ぶりに改善している。

今回集計結果を規模別にみると、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）は、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）に比べ持ち直しの動きが鮮明となっている。

業種別にみると、製造業は多くの業種で業況が持ち直し、加工組立型では、円高是正による輸出の改善などから、一般機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械などすべての業種で持ち直しがみられる。非製造業は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が出始めた住宅建設がプラスに転じるなど、多くの業種で持ち直している。

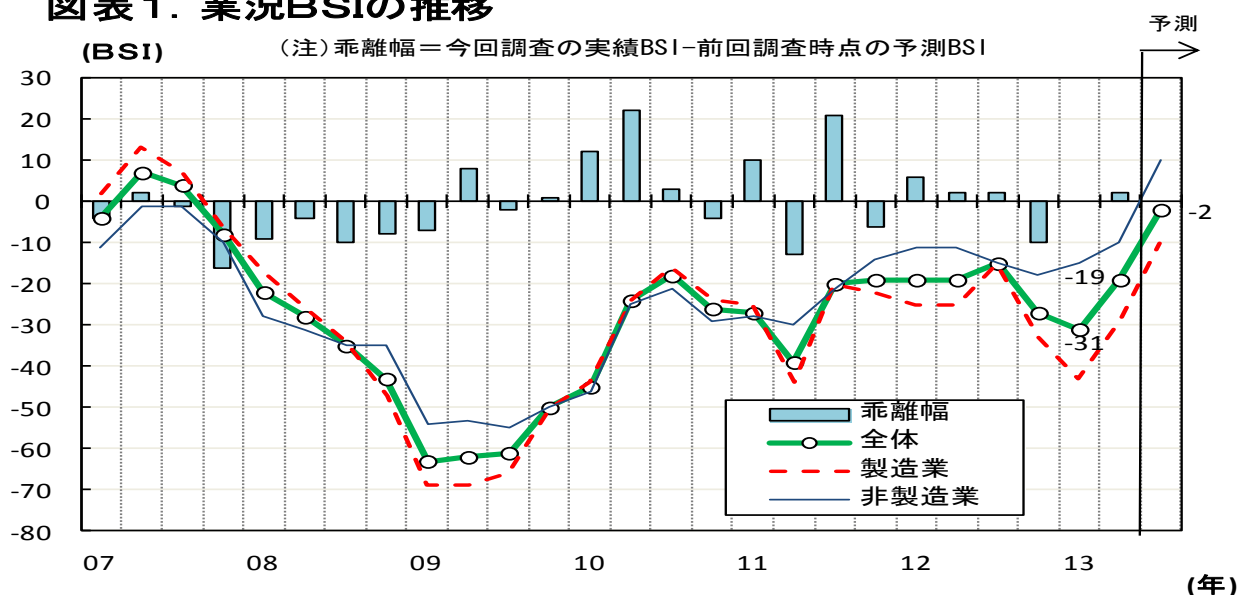
ただし、素材型や生活関連型の飲・食料品などの業種では原材料・仕入価格が上昇しており、円安によるマイナス面の影響もみられる。

先行き（2013 年 7～9 月期）の業況判断 BSI は－2 と引き続き大幅に回復する見通しとなっている。業種別にみると、製造業では、素材型は住宅関連等の国内需要の増加から持ち直し、加工組立型では、取引先の海外生産シフトの影響などから足踏みしている輸送用機械を除いて、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイス、精密機械は、円高是正に伴う輸出増への期待などから持ち直す見通しとなっている。非製造業も、消費税率引き上げ前の駆け込み需要本格化への期待から、住宅関連業種などすべての業種で持ち直す見通しとなっている。

図表 1. 業況BSIの推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績BSI－前回調査時点の予測BSI



1. 業況判断 BSI（「良い」－「悪い」） ～足元急速に持ち直し～

業況感は足元急速に持ち直している。今回調査の業況判断 BSI は、-31 → -19（前回→今回、以下同じ。）と 12 ㊦上昇、2012 年 7～9 月期以来 3 四半期ぶりに改善している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」は、「規模の小さい企業」に比べ持ち直しの動きが鮮明となっている。

業種別にみると、製造業は多くの業種で業況が持ち直し、加工組立型では、円高是正による輸出の改善などから、一般機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械などすべての業種で持ち直しがみられる。非製造業は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が出始めた住宅建設がプラスに転じるなど、多くの業種で持ち直している。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2011年	2012年				2013年			2013年 7～9月 (先行き)
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	前回予想	
全体	-19	-19	-19	-15	-27	-31	-19	-21	-2
100人未満	-27	-30	-29	-19	-30	-31	-26	-18	-10
100人以上	-11	-8	-8	-10	-23	-32	-11	-23	6
製造業	-22	-25	-25	-15	-33	-43	-29	-29	-10
100人未満	-33	-30	-36	-14	-33	-36	-32	-24	-15
100人以上	-12	-19	-12	-15	-32	-52	-26	-34	-5
素材型	-20	-17	-20	-4	-31	-32	-26	-20	-6
紙加工品等	-23	-42	-18	-23	-31	-25	-8	-8	8
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-29	-15	-31	-23	-42	-54	-38	-31	-6
鉄鋼・非鉄金属	-36	-40	-17	-14	-50	-36	-38	-36	-8
金属製品	8	8	-25	33	-17	-25	-29	-8	0
その他素材型	-21	-6	-12	5	-11	-18	-18	-18	-18
加工組立型	-22	-27	-27	-22	-35	-54	-32	-34	-10
一般機械器具	-33	-11	-41	-22	-30	-50	-24	-35	-14
電気・情報通信機械器具	-29	-62	-69	-38	-33	-50	-25	-58	0
電子部品・デバイス	-36	-38	-31	-25	-25	-75	-54	0	8
輸送用機械	30	8	17	-8	-38	-62	-42	-58	-42
精密機械	-27	-36	-6	-17	-55	-33	-23	-17	0
生活関連型	-22	-38	-33	-30	-25	-44	-26	-36	-26
飲・食料品	-8	-25	-31	-8	-8	-54	-45	-38	-36
印刷・同関連業	-36	-50	-36	-55	-42	-33	-8	-33	-17
その他製造業	-50	-33	-14	0	-50	-33	-33	-17	-17
非製造業	-14	-11	-11	-15	-18	-15	-4	-10	10
100人未満	-20	-29	-19	-27	-27	-24	-18	-11	-2
100人以上	-9	7	-3	-3	-9	-7	8	-10	21
一般建設	-22	-32	-19	-47	-26	-21	-16	0	-11
住宅建設	-25	-11	0	0	7	-17	33	17	53
卸 売	-11	-5	-12	-26	-18	-16	-15	-18	0
小 売	-14	4	-11	-5	-39	-12	-25	-35	-14
運輸・倉庫	-14	-27	-13	0	-8	-21	8	-14	18
不動産	-18	-8	-8	-31	-25	-45	-15	-9	23
その他非製造業	0	-11	-7	11	-6	11	18	6	24

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業中心に持ち直し～

製造業では、販売（受注）数量の持ち直しから、素材型の紙加工品等、加工組立型の電子部品・デバイスがプラスに転じ、落ち込んでいた輸送用機械なども持ち直している。非製造業は住宅建設などがプラスに転じている。先行きは、製造業は素材型や加工組立型で輸送用機械を除くすべての業種がプラスに転じ、非製造業は運輸・倉庫を除くすべての業種がプラスに転じるなど、増加傾向が強まる見通しとなっている。

図表3 売上（生産）高 BSI

	（前々回調査） 12年10～12月期	（前回調査） 13年1～3月期	（今回調査） 13年4～6月期	（先行き） 13年7～9月期
全体	-9	-24	-5	24
製造業	-17	-38	-5	19
非製造業	3	-5	-5	31
規模の小さい企業	-7	-24	12	17
規模の大きい企業	-11	-23	3	30

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の素材型、加工組立型で持ち直し～

製造業は、素材型では鉄鋼・非鉄金属などを除き、加工組立型では精密機械を除き、多くの業種で持ち直している。非製造業では住宅建設がプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型や加工組立型はほぼすべての業種でプラスに転じ、非製造業では、運輸・倉庫を除くすべての業種でプラスに転じる見通しとなっている。

図表4 経常利益 BSI

	（前々回調査） 12年10～12月期	（前回調査） 13年1～3月期	（今回調査） 13年4～6月期	（先行き） 13年7～9月期
全体	-17	-25	-15	15
製造業	-25	-33	-16	11
非製造業	-7	-14	-13	20
規模の小さい企業	-20	-28	-22	9
規模の大きい企業	-14	-21	-8	21

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業はプラスに転化～

製造業は、加工組立型でプラスに転じている。先行きは円高是正による輸出の改善などから、加工組立型でプラスが拡大する見通しとなっている。

図表5 海外需要 BSI

	（前々回調査） 12年10～12月期	（前回調査） 13年1～3月期	（今回調査） 13年4～6月期	（先行き） 13年7～9月期
全体	-13	-6	6	11
製造業	-18	-9	9	15
非製造業	0	2	0	2
規模の小さい企業	-14	-6	4	11
規模の大きい企業	-12	-5	8	11

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰、非製造業では不足～

製造業では素材型や生活関連型で過剰感が増しているものの、加工組立型で薄らいでいる。非製造業では、一般建設や卸売で不足感がみられる。

図表 6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 12年10～12月期	(前回調査) 13年1～3月期	(今回調査) 13年4～6月期	(先行き) 13年7～9月期
全体	1	4	5	2
製造業	5	11	11	5
非製造業	-4	-7	-4	-3
規模の小さい企業	-2	5	4	0
規模の大きい企業	4	2	6	4

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰、非製造業では不足～

製造業では素材型や加工組立型で過剰感がみられる。一方、非製造業では一般建設や運輸・倉庫などほとんどの業種で不足感が生じている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 12年10～12月期	(前回調査) 13年1～3月期	(今回調査) 13年4～6月期	(先行き) 13年7～9月期
全体	-7	-7	2	-6
製造業	7	7	13	6
非製造業	-26	-26	-12	-21
規模の小さい企業	-6	-2	1	-9
規模の大きい企業	-8	-12	4	-2

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～非製造業で改善～

製造業は加工組立型で厳しさがみられるが、総じて持ち直している。非製造業は住宅建設などで改善している。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 12年10～12月期	(前回調査) 13年1～3月期	(今回調査) 13年4～6月期	(先行き) 13年7～9月期
全体	2	-1	3	2
製造業	1	-4	-1	1
非製造業	2	3	8	2
規模の小さい企業	-5	-8	-6	-7
規模の大きい企業	9	6	11	10

(以上)